

2026/04/20

轟 逸君



福祉総合演習 I

第1回 オリエンテーション

15 lessons / 90 minutes each
course plan

clear

visual

simple

bilingual

*日本語がむずかしいときは、短いことばでも大丈夫です。キーワードだけでもいいです。英語を少し使っても大丈夫です。

今日のながれ

前半 45分

- 自己紹介
- 授業の目標
- 「福祉」とは何か

中盤 25分

- 一人で考える
- グループで話す
- 意見をまとめる

後半 20分

- グループ発表
- 先生のまとめ
- ふりかえり

ポイント：説明 → 活動 → 発表 → ふりかえり

自己紹介

聶逸君 (Yijun NIE) (ネ イジュン)
中国・河南省出身

大学卒業後、日本へ留学。社会福祉学の
博士号取得

研究テーマは女性の労働、ジェンダーな
ど

現在、立教大学社会情報教育研究セン
ター・教研コーディネーター

Mail: m2172004yn@gr.jwu.ac.jp
Website: [Yijun NIE](#)



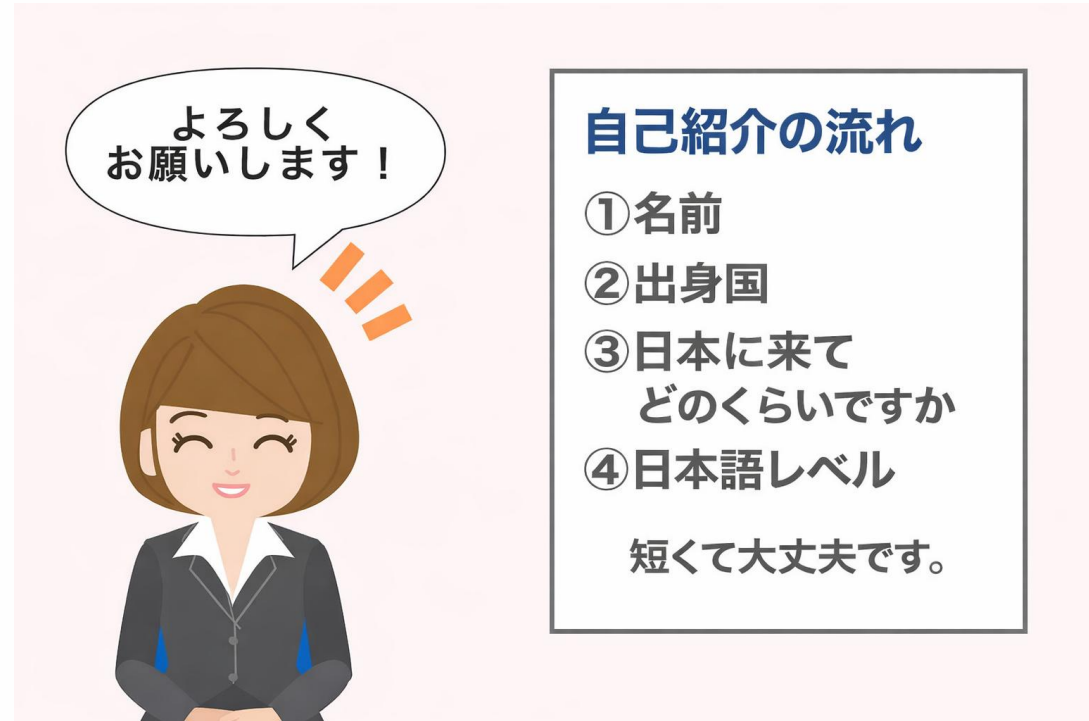
Longmen Grottoes

自己紹介

みんなも自己紹介をしましょう

内容

- 名前
- 出身国
- 日本に来てどのくらいですか
- 日本語レベル
(N1 / N2 / N3 / N4 / まだ勉強中 など)



この授業で学ぶこと

4つの目標

- 福祉のことばを知る
- 身近な問題を考える
- 自分の意見を話す
- 他の人の意見を聞く

先生メモ

社会福祉概論 = 知識を学ぶ授業

福祉総合演習 = 考える・話す・伝える授業

「正解」より「**考えること**」を大切にする

15回のコースマップ

Chapter-based plan for one semester

Chapter 1

福祉を学ぶ準備

orientation & discussion
basics

Chapter 2

身近な生活と福祉

daily life & welfare

Chapter 3

高齢者・子ども・ 障害

life stages & support

Chapter 4

仕事・病気・生活 困難

work / illness / hardship

Chapter 5

相談・支援・地域 福祉

support & community

Chapter 6

事例演習とまとめ

case study & review

Weeks 1-4

福祉を考える + 話す

Weeks 5-8

生活の課題 + 支援を
考える

Weeks 9-12

介護福祉士の仕事とつなげる

Weeks 13-15

事例演習 + 発表 + review

授業計画 1-8

First half of the semester

回	テーマ	やさしい目標 / simple goal
1 04/20	オリエンテーション	この授業で学ぶこと / class map
2 04/27	身近な生活と福祉	生活の中の困りごと / daily life
3 05/11	高齢者の生活と支援	aging / care
4 05/18	子ども・家族への支援	child / family support
5 05/25	障害と生活支援	disability / support
6 06/01	病気・けがと福祉	illness / hospital / support
7 06/08	仕事・失業・生活困難	job / unemployment / hardship
8 06/15	外国人と福祉	language / life in Japan

授業計画 9-15

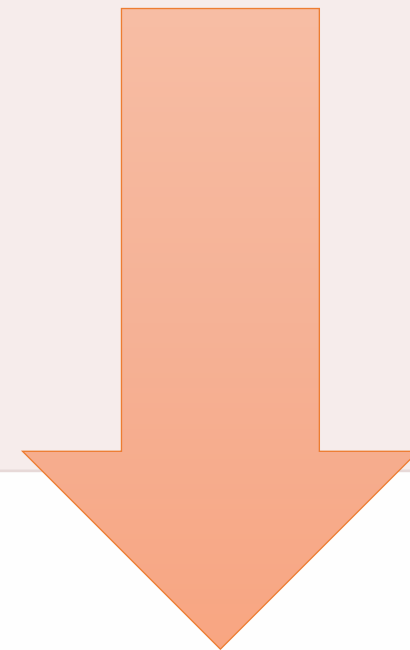
System-focused second half

回	テーマ	やさしい目標 / simple goal
9 06/22	相談援助とは何か	listening / helping
10 06/29	コミュニケーションの基本	talk / listen / report
11 07/06	地域福祉と支援のつながり	community / support
12 07/13	介護福祉士の仕事と福祉	care work / teamwork
13 07/27	事例演習①	case study
14 08/31	事例演習②・発表準備	discussion / presentation
15 09/07	期末試験	Test

この形で15回の授業を進めます。

1. title
2. key words
3. picture / example
4. today's point
5. Group discussion
- 6. check**

→ **same rhythm every week**
→ **easy to follow for multilingual students**



- 福祉の基本的な考え方を理解する
- 身近な生活課題を福祉の視点で考える
- 自分の意見を話すグループで協力して学ぶ
- 介護福祉士の仕事と福祉をつなげて考える

評価

授業への参加20%、授業内レポート・プレゼンテーション30%、期末試験50%

使用テキスト

テキストは用いず資料を配布する。

この授業の学び方

① 聞く

- 先生の説明を聞く
- 大事なことばに線を引く

② 書く

- キーワードをメモする
- 短い文でよい

③ 話す

- 一人で考える
- グループで話す

④ ふりかえる

- 今日わかったことを1つ書く

「福祉」とは何か

福祉はいつ必要ですか

福祉 =

生活をまもること
困ったときに支えること

たとえば

- 病気の時
- けが
- お金の問題
- 子育て
- 高齢
- ことば

大切な考え

- だれでも助けが必要になる
- 福祉は特別な人だけではない
- 生活ととても近い

福祉は、特別な人だけではなく、だれの生活にも関係します。

福祉を考える3つのポイント

何が問題ですか

何が必要ですか

だれに相談できますか

この3つを考えると、福祉の見方がわかりやすくなります。

脳梗塞（Stroke）のあと**要介護状態**になった高齢者であるE（仮名、75歳）は、介護支援専門員（**ケアマネジャー**）にケアプランをつくってもらい、**訪問介護や通所介護**を受けている

キーワード

高齢者

障害

子ども

外国人

家族

仕事

お金

生活

病気

支援

地域

相談

事例①

< 児童・保育 >

親の虐待を受けている可能性のあるAちゃん（仮名、4歳）を児童相談所が一時保護した。

赤ちゃんを育てながら育児不安を抱えるお母さんであるBさん（仮名、24歳）を、こども家庭センターのソーシャルワーカーが支援している。

兄弟の世話をしなくてはならず学校の遅刻が多いCさん（仮名、16歳）を、学校のスクールソーシャルワーカーとともに支援している（p18）。



事例②

< 障害者・高齢者・患者 >

知的障害をともなう自閉症があるDさん（仮名、18歳）は特別支援学校を卒業した後、**就労移行支援**を受けている

脳梗塞のあと**要介護状態**になった高齢者であるE（仮名、75歳）は、**介護支援専門員（ケアマネジャー）**に**ケアプラン**をつくってもらい、**訪問介護**や**通所介護**を受けている

大腿部骨折で急性期入院したFさん（仮名、50歳）は、手術の後のリハビリのため、**医療ソーシャルワーカー**に転院先の回復期病院を探してもらっている。入院費用や家族関係についても相談している。

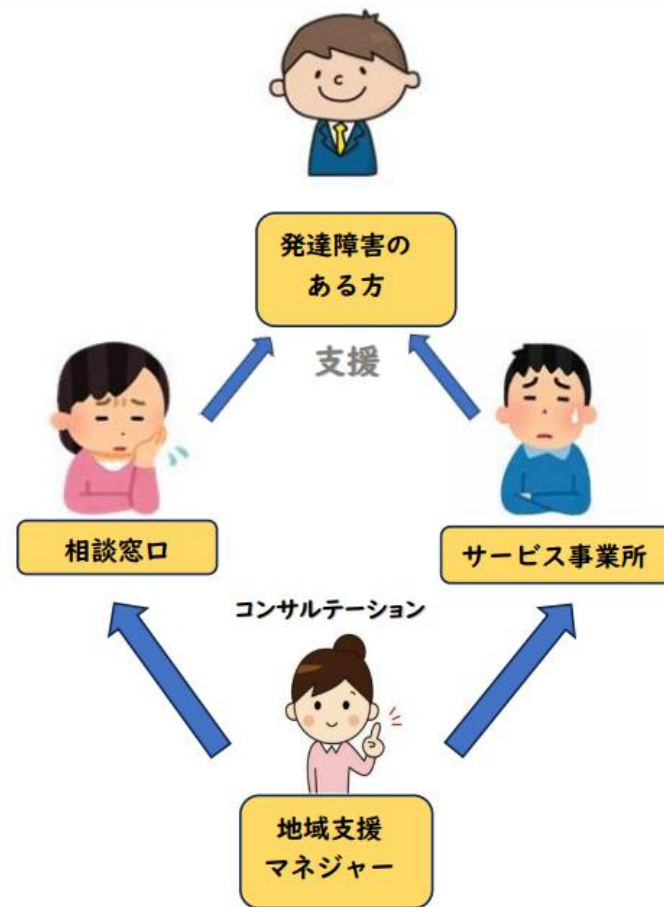


事例③

<地域支援・生活困窮>

G 年を取って体が弱ってきた八木アツキさん（仮名、75歳）は、近所にある**社会福祉協議会**が行っているふれあいいいきサロンに通い始めた。ここでは**子ども食堂**も行っており、子どもたちと触れ合うのを楽しみにしている

H 長い間ひきこもっていた藤井ナオキさん（仮名、50歳）は、親の死後**生活保護**を受けるようになり、**ケースワーカー**に**就労支援**を受けている



今日のテーマ

**どんなときに、人は
助けを必要とすると思いますか。**

例：病気するとき／日本語がわからないとき／お金がないとき

まず一人で考えてから、グループで話す

グループワークのルール

ルール 1

- 一人ずつ話す
- わからない時はゆっくり言う

ルール 2

- 相手の話を最後まで聞く
- わらわない・否定しない

ルール 3

- 短い日本語でよい
- 英語が出てもOK → 日本語に言いかえる

話し合いの進め方

1分

一人で考える

8分

グループで話す

3分

意見をまとめる

8分

グループ発表

5分

先生のコメント

発表のしかた

「
私たちのグループでは、
」ときに、人は助けを必要とすると考えました。
理由は、「
」からです。

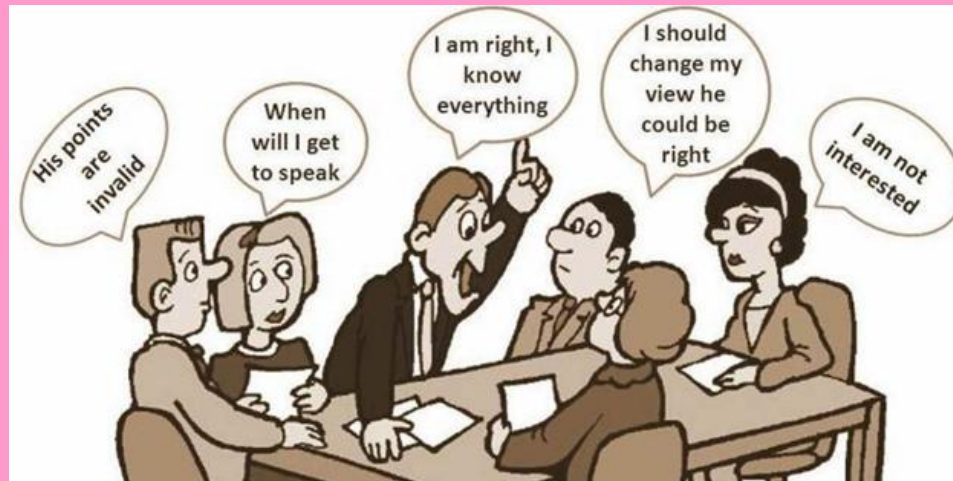
短くてよい

同じ言葉を使ってよい

Group Discussion グループディスカッション

グループディスカッションとは

- ・一つのテーマについて、グループで話し合うこと
- ・自分の意見を言う
- ・人の意見を聞く
- ・最後にグループの考えをまとめる



The Rule of Group Discussion

- ・一人ずつ話します人の話を最後まで聞きます。
- ・わからないときは聞いてもいいです。
- ・全員、一回は話します。
- ・最後にグループの意見をまとめます。
- ・グループの意見を皆に発表する⇒Presentation

福祉経営科 20人=4人*5組

役割

Aさん：司会
Bさん：記録
Cさん：発表
Dさん：時間


使えることば

私は～と思います。理由は～です。
〇〇さんはどう思いますか。
もう一度お願いします。
私たちのグループでは～



Case

ネパールから来た**留学生**Aさんは、日本で**一人暮らし**をしています。
ある日、**熱**が出ました。
アルバイトも休まなければなりません。
病院に行きたいですが、**お金**が心配です。
日本語にも自信がありません。

- 
- ・ Aさんの問題は何ですか。
 - ・ まず、何をしたらいいですか。
 - ・ だれに相談できますか。



練習しましょう。

- 1分：自分で考える
- 8分：グループで話す
- 3分：答えをまとめる
- 3分：発表の準備

ふりかえり

1. 今日わかったこと

2. むずかしかったこと

3. この授業で学びたいこと

時間があれば、1～2人に読んでもらう。